

2026年(令和8年)5月13日(水)

NPO法人・GW三島の渡辺専務理事

まちづくりのノウハウ書籍に 著者AIと読者が対話も

三島市のNPO法人

・グラウンドワーク三島(GW三島)の渡辺専務理事が、NPO活動やまちづくりのノウハウをまとめた書籍「ジャンボ・メッセージ」グラウンドワーク三島・水辺のまちづくりの極意(泉町書房)を出版した。渡辺さんの

思考を解析した人工知能(AI)が読者の疑問に答える機能を備

えている。

本は、三島市の源兵衛川再生プロジェクトなど、GW三島のこれまでの活動内容を紹介しながら「NPO組織の立ち上げに必要なこと」「組織維持の極意」などを指南する内容になっている。

AIは渡辺さんのニックネーム「ジャンボ」から「AIジャンボ」と名付けた。渡辺さん



人工知能との対話機能を利用できる書籍「ジャンボ・メッセージ」

の講演録や著書、論文などに基ついてチャット形式で質問に答える。本に記載されたQRコードからアクセスできる。

記者がAIジャンボに「この本で読者に伝えたいことは何ですか」と質問したところ

「一番伝えたいことは、『地域は、誰かが変えてくれるのを待つのではなく、自分たちの手で再生できる』ということですね」「理想論だけではありません。『どうやって仲間を集めるのか』『行政とどう付き合うのか』『資金をどう確保するのか』まで、非常に現実的に書いてあります。つまり、夢を語る本であると同時に、『現場で動かための実践マニュアル』でもあるわ

けです」などと回答があった。

A5判、2332ページで2750円。AIへの質問は10回までは無料で、その後は月額2000円(税別)。

【長沢英次】